

# 十字架上の七つの言葉



2022年 聖金曜日

主イエス・キリストよ、あなたは十字架につけられ、苦しみの中で七つの言葉を発せられました。今、わたしは十字架の前に沈黙し、あなたの声に耳を傾けます。アーメン

1 そのとき、イエスは言われた。「父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか知らないのです。」ルカ 23:34

主イエスは、「されこうべ」と呼ばれるところに連れてこられ、そこで十字架につけられました。二人の犯罪人が、一人はその右に、一人はその左に十字架につけられました。

主イエスよ、あなたは罪を犯されなかったのに、不当な裁判にかけられ死罪とされました。

けれどもあなたは、あなたを告発した者、死に渡した者を憎ま  
ず、その罪が赦されるように祈られました。あなたは彼らが滅  
びるのを願われませんでした。

主よ、赦していただかなくてはならないのはわたしです。自分  
が何をしているのか知らずにいて、あなたを苦しめてきたのは  
わたしです。

けれどもあなたがわたしの赦しのために祈ってくださるので、  
わたしは希望を持つことができます。

詩編130:4 「しかし、赦しはあなたのもとにあり、人はあなた  
を畏れ敬うのです。」

2 するとイエスは、「はっきり言っておくが、あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる」と言われた。(ルカ 23:43)

一緒に十字架につけられた犯罪人の一人が、苦しい息の中で言いました。

「イエスよ、あなたの御国においでになるときには、わたしを思い出してください」

彼は死の淵にあってイエスに望みを託したのです。すべての人から忘れられても、イエスが自分を思い出してくださるなら、それで十分でした。

主イエスよ、わたしを忘れないでください。今も、後の日も、永遠にあなたと一緒におらせてください。わたしはそれを願う資格のないものですが、それでもあなたが約束してくださるのなら、あなたの楽園にわたしを迎えてください。アーメン

3 イエスは、母に、「婦人よ、御覧なさい。あなたの子です」と言われた。それから弟子に言われた。「見なさい。あなたの母です。」(ヨハネ 19:26-27)

マリアは、目の前でわが子イエスが殺されるという悲痛な場面に立っています。しかしマリアは、イエスが正しい道を歩んできたことを確信しています。彼女も神の国を待ち望んできたのです。

主の母を自分の家に引き取ったその弟子は、彼女を支え励ますでしょう。しかしマリアも、この弟子を支え励ますことが起こるでしょう。二人の相互の協力と一致は、最初の教会の中で模範となり、力となったのではないのでしょうか。

主イエスよ、あなたを信じる者の間に、深い信頼と一致を与え、力を合わせることを教えてください。

主よ、もしあなたがわたしに何かをゆだねてくださるなら、それを大切に守り、あるいは支えることができますように。

4 イエスは大声で叫ばれた。「エロイ、エロイ、レマ、サバクタニ。」これは、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。(マルコ 15:34)

イエスは神からもっとも遠いところ（神から捨てられたと言えない場所）からなお神を求め、神を決して離されませんでした。そのようにして、言わば人間の側から神に向かって橋を架けてくださいました。（その反対、神から人間に向けての架橋は、クリスマス＝降誕の出来事です。）

主イエスよ、あなたは、本来わたしがいるはずの「捨てられた場所」に立ち、わたしをそこから追い出されました。

身も心も破れた苦痛と暗黒の中で、あなたは神を叫び求められました。あなたの叫びが、不思議にもわたしを滅びから救ってくださいることを思います。

5 イエスは、すべてのことが今や成し遂げられたのを知り、  
「渴く」と言われた。(ヨハネ 19:28)

長時間十字架につけられて、イエスは激しい渇きに苦しめられました。口も喉も、そして全身が渇きとなってうめかれました。

「渴く」

主イエスよ、あなたが「渴く」と言われたとき、神を渇き求められたのでしょうか。そしてまた、わたしたちを求めてくださったのでしょうか。

あなたのこの声を心に聞くと、わたしもまたあなたを切に慕い求めます。

あなたはかつてサマリアの女に言われました。それを今、わたしへの約束として聞かせてください。

「わたしが与える水を飲む者は決して渇かない。わたしが与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水がわき出る。」

(ヨハネ4:14)

6 イエスは、このぶどう酒を受けると、「成し遂げられた」と  
言い、頭を垂れて息を引き取られた。(ヨハネ 19:30)

人々は、酸いぶどう酒を含ませた海綿をヒソプに付けて、イエスに差し出しました。イエスはそれを受けて、「成し遂げられた」と言われました。

「成し遂げられた」

イエスの生涯と死によって、わたしたちの救いは実現・成就したという宣言です。

主イエスよ、わたしは今も、混乱と不義と苦しみの現実を見ています。不安と病を抱えた自分を感じています。けれども、あなたの死において、あなたの死によって、この世界とわたしの救いがすでに土台を据えられたことを思います。

かつてあなたは「勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている」(ヨハネ16:33)と言われました。あなたの十字架の死において、悪の力に対する敗北ではなく勝利が成し遂げられたことを信じて、希望を抱きます。

7 イエスは大声で叫ばれた。「父よ、わたしの霊を御手にゆだねます。」(ルカ 23:46)

イエスは大声で叫ばれました。決意をこめた、生涯の最後の声でした。

「父よ、わたしの霊を御手にゆだねます」

イエスのご自身の霊を、ご自分のすべてを、神にゆだねられました。神は、その御手にイエスを抱かれます。そして3日目にイエスを復活させられます。

主イエスよ、あなたはご自身を神にゆだねられました。

わたしもまたあなたとともに、神に自分をゆだねます。アーメン

司祭 ヨハネ 井田 泉